

## 令和元年度 第6回「まちづくり会議」概要 白峰地区

日 時：令和元年6月27日（木） 19：30～20：30

場 所：白峰地域交流センター

参加団体等：老人クラブ連合会、南消防団白峰分団、防犯協会、白峰女性の会、桑島女性の会、白峰青年団、しらみね子ども会など

### 発言【1】

① 高齢者の運転免許証の返納について（助成、支援）

② 少子化（結婚）支援策について

#### 【市】

①国では、自動車メーカーに対し、自動運転等の開発や実用化の取り組みをさらに進めるよう要請する考えを示しており、今後、高齢者免許制度の創設や自動ブレーキなどの安全機能が付いた自動車の普及策等について検討することとしております。県でも後付けの安全装置の補助を検討中のことで、市としても後付け安全装置の性能や効果等を調査・研究するとともに、国や県の動きを参考に普及策等を検討して参りたいと考えています。

返納者の支援につきましては、現在、有効期限内のすべての運転免許証を自主返納した満65歳以上の市民の方に下記のいずれか1つを選択（2万円相当）し支援しています。

○市コミュニティバス「めぐーる」回数乗車券

○北陸鉄道ICカード乗車券「アイカ」

○県タクシー協会タクシー共通乗車券

○JR西日本ICカード乗車券「イコカ」

また、昨年より75歳以上の方はめぐーるの無料化を実施しています。

今後は「市民協働で創るまちづくり」の中で地域課題について協議する「新たな地域コミュニティ組織」を創設することで、地域の実情に合った交通手段を話し合い、交通事業者や地域が主体となる公共交通空白地の運送事業の実施について検討してまいります。

②白山市では、男女の出会いの場を提供し、結婚意識の高揚を図るため市長が委嘱した縁結びサポーターが結婚に繋がる活動を行えるよう支援しており、男女の出会いの場の創設事業として、毎年1回ハッピーワイルドストロベリー事業を実施して

います。

今後も、「白山市 まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本目標のひとつである「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」社会の実現に向けた、総合的な支援に対する取り組みを進めてまいります。

#### 発言【2】

防災行政無線の情報収集媒体（ラジオ）としての利用について

##### 【市】

防災行政無線からのラジオ電波の発出はできません。戸別受信機には、FMラジオを受信できる機能がありますが、白峰地域では、ほとんどの場所が、受信環境が悪く、雑音が多いため大変聞き取りにくい状態です。

#### 発言【3】

国道157号線（桑島区）の補修の県要望について

##### 【市】

毎年、石川県石川土木総合事務所には要望をいたしております。町内からも、石川県石川総合土木事務所に要望はしており、強く働かせてまいりたいと思っております。また、国道の黄色のセンターラインは、道路管理者でなく、公安委員会が管理いたしておりますのでそちらにも要望いたします。

#### 発言【4】

流雪溝の修繕について

##### 【市】

今年度、無電柱区間の流雪溝の老朽化、破損個所の調査及び修繕工事を行います。7月下旬から現地を調査し修繕工事の準備を進めています。

#### 発言【5】

白山担当課と担当職員の配置について

##### 【市】

ジオパーク・エコパーク推進課では、生物多様性の保全及び自然と人間社会の共生の観点から、白山ユネスコエコパークに関する業務を担っており、白山関係の担当課として一番相応しいと考えていますので、まずジオパーク・エコパーク推進課にご相談ください。しかしながら、白山に関係することをすべて担当しているわけではありませんので、具体的な内容に応じた専門の課へつなぎ適切な対応を取って

まいりたいと考えています。

#### 発言【6】

マイカー利用者用の駐車場の標記について

##### 【市】

駐車場案内の設置については、白峰まちづくり協議会と検討してまいります。

白峰地区では、県、市の補助事業（観光地ブランド化推進事業）を活用し、ホームページやまち歩きマップを作成し、駐車場の場所を案内していただいています。今後もマップの配布等、旅行者と地域の方の交流を増やし、地域ならではの魅力を高める取り組みを支援してまいります。

また、H31.3月に作成した健康づくりのウォーキングマップにも、白峰地域の重伝建の街並みのコース等を紹介しており、車で訪れる人のために、マップに駐車場を表示してあります。

#### 発言【7】

スマートフォンや携帯電話等の電波の改善について

##### 【市】

山に入って遭難した時に携帯が使えることは有効と考えています。しかしながら、携帯電話の不感地帯解消の為に基地局設置には、光ファイバー幹線及び電源が必要となります。また、これらが確保できても一定の需要がなければ事業者から設置の同意を得られません。今後も条件が合致する場所については、事業者に設置を働きかけていきます。